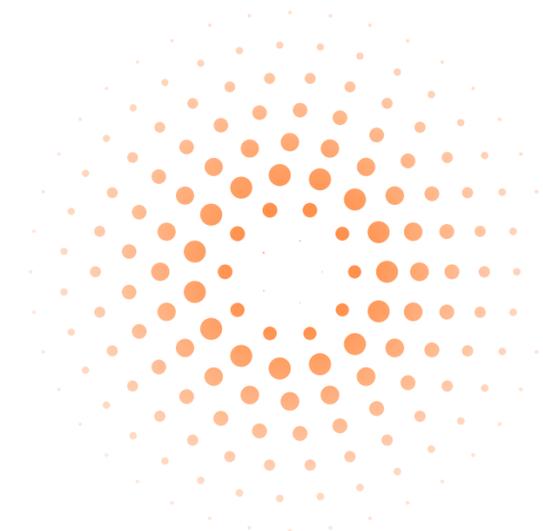


– Educational challenge

EduMed

最終報告



---

日にち：2024年2月14日(火) 13:00～

# 目次

---

- 01** 活動の目的
- 02** 学習支援の様子
- 03** 体験創出の様子
- 04** 今後について

## 活動の目的

# 療養中の子ども の自己効力感を育む

入院中の子どもたちに対する学習支援で教育の機会均等、自己効力感の育成を目指してきました。子どもたちの自己表現力を育むワークショップも行いました。



# 後期の活動内容

01

## 学習支援

- ・ 信大附属病院での支援
- ・ 日赤病院での支援
- ・ プリント教材の配布

02

## 体験創出

- ・ ものづくり体験会
- ・ NMDA様との協働
- ・ 若槻養護とのメタバース交流



## 学習支援：実施内容

---

- **信大病院 高校生 1人 週2回（オンライン）**

⇒ 本人の希望をもとに教科ごと担当学生を決めて実施

- **長野日赤 中学生 1人 週2回（対面）**

⇒ 学校からの配布プリントを中心に相談しながら実施

- **プリント教材の配布 小～高校生**

⇒ 様々な教科/単元に触れられるように教材を工夫

## 学習支援：成果と実感

---

### 子ども本人

学習機会が得られる（⇒本人が学びを求めていることに応える）  
病院の外の人と出会い、「個人」として話しをする

### 病院側

医療では対応できない部分が支援してもらえる  
普段の姿とは違った姿を見ることができる

### 学生

入院児という普段の講義では出会わない、子どもたちを知る  
個に応じた支援、関わりがなにかを考える経験を積める

# 学習支援：今後に向けた課題

01

## スケジュール調整

病院側/ご本人の都合に合わせた支援を行うためには団体として学生数を増やすことが必要。

02

## どこまで学生が介入できるか

あくまで学生であるがだからこそできる関わり方の実践をつくっていく。

03

## 学生の心理的ケア

支援していたお子さんが最期を迎えることもある。  
情報共有先と相談先を  
保証できる体制を作る。

## 体験創出：実施内容

---

- **FabLabさんと共同企画  
ランタンづくりのワークショップを開催**
  - ⇒ 県立こども病院（1/31）信大附属病院（2/5）で開催
- **NMDA様から支援用ロボットの貸与**
  - ⇒ 支援中の使用には至らなかったが、活用を検討中
- **若槻養護学校とのメタバース交流**
  - ⇒ NMDA様にご協力いただきメタバース空間を用いて、大学生と生徒の交流を行った

## 体験創出：ワークショップ開催の経緯

### ものづくりの体験を子どもたちに にしてもらえないか？

- ・入院している子どもたちに学習以外にも体験や外部の人との交流の機会を作りたい。
- ・教育学部の学生に院内学級の子どもたちを知ってもらい、教員のキャリアに役立てていく。

→以下の企画を検討

ロボットを使って信大の文化祭を探検しよう！

大学の授業に参加してみよう！など、いずれも実施に至らず

世界に一つだけ!

作ろう!  
君だけの  
オリジナル  
ランタン

作ったランタンは、長野市の  
イルミネーションに飾られるよ!  
もちろん、自分の部屋に飾ってもOK!

共同開催  
FabLab  
信州大学ものづくり  
教育コースの学生団体  
x  
Edumed  
信州大学の学生による  
療養児支援団体

開催場所: 院内学級  
日にち: 2024年2月5日 (月)  
時間: 14:00~15:00

# 体験創出：開催までのプロセス

カッティングマシンに  
決定!

01

02

03

04

## 内容の相談

3Dプリンターや、カッティングマシン、支援用ロボットKUBIなど、子どもたちに扱えそうな機材を検討し、活用法を相談しました。

## 活動の決定

作業が簡単でかつ安全であり、ワクワクする活動内容の設計をめざしました。

## 準備

備品の購入や絵柄の選定、チラシの作成などの事前準備行いました。

## 実施

1/31に県立こども病院  
2/5に信大附属病院にて開催しました。  
イルミネーションを  
かるかや山西光寺に  
展示しました。

# 体験創出：アンケートの結果



参加者  
9歳~15歳

Q 一番楽しかったところは何ですか？

- ・作り終わって光らせたとき
- ・紙を丸めるところ
- ・切ったのをはがすところ
- ・セロハンと紙をきれいに合わせてつけるところ

Q いまはまっていることはありますか？

- ・タブレット (YouTube)
- ・トランプ

実際に体験できる活動を増やしていきたい

参加者の全員から5点満中5点の  
「たのしかった！」を  
得られました



## 今後について

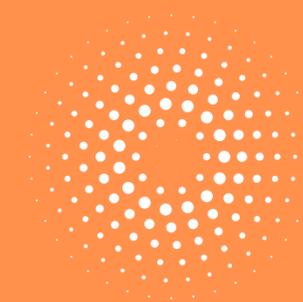
### 今年度の活動を通して

今回の活動を通して、私たちの活動を「心待ちに過ごしていた」と言ってくれる子どもたち、先生方にお会いすることができました。かかわってくださった皆様のおかげで、子どもたち・学生ともに貴重な交流の機会を創出できたと実感しております。

今後もニーズにこたえていくために、3月までの残りの期間も継続して支援を続けてまいります。

今後とも温かく見守っていただけますと幸いです。





**Educational challenge2023**

**ありがとうございました！**